ご注意：

本書は取り扱い説明書から注意文など、製品の操作方法について直接関係のない部分や余白などを削除、修正したものです。操作方法が分からなくなったが説明書が手許にないとか、製品に興味があるが操作方法はどのようになっているのか先に知りたい、といった場合にお使い頂く事を念頭に編集しており、正しくお使い頂くためには必ず製品に同梱されている説明書をお読み下さい。又、本書が完全な説明書では無いことに対するクレームは一切お受け致しませんので、予め御理解ください。本書はDJ-PX2とは互換性がありません。

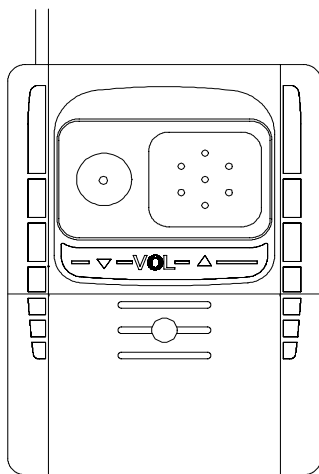
尚、正式な説明書は無線機販売店でご購入いただけます。詳しくは下記の弊社ウエブサイトをご参照ください。

http://www.alinco.co.jp/denshi/14.html

ALINCO

特定小電力ハンディトランシーバー
（総務省技術基準適合品）

DJ-PX2C

取扱説明書

アルインコのトランシーバーをお買い上げいただきましてありがとうございます。本製品の機能を充分に発揮させ、効果的にご使用いただくため、この取扱説明書をご使用前に最後までお読みください。アフターサービスなどについても記載していますので、この取扱説明書は大切に保管してください。
また、補足シートや正誤表が入っている場合は、取扱説明書と合わせて保管してください。
ご使用中の不明な点や不具合が生じた時、お役に立ちます。

本製品は免許・資格不要の特定小電力無線電話として、各種通信にお使いいただけます。

アルインコ株式会社

■通信距離

本機に採用されている電波は直進性が高いため、間にビルや橋脚、または山や丘陵などの障害物があると通信できる距離が短くなります。
また、本機は携帯性を重視するため、ショートアンテナを採用しています。ロングアンテナタイプと比べると通信距離が約 3 割程度短くなります。

■バッテリーセーブについて

電池の消耗を防ぐ機能です。受信待ち受け状態で約 5 秒間キー操作がないと、この機能が動作します。信号を受信するか、キー操作がおこなわれるとバッテリーセーブは解除されます。この機能は設定により解除することはできません。

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

1 お使いになる前に

本機をお使いになる前にお読みください。

付属品

開梱しましたら、付属品を確認してください。

- □ 本体　DJ-PX2C
- □ イヤホンマイク
- □ ネックストラップ
- □ 取扱説明書（本書）
- □ 保証書

注意　・保証書に販売店による販売日の記載がないと保証の対象外となり、修理はすべて有償となります。記載されていない時は、レシートなど製品名と販売日が証明できる書類と合わせて保管してください。

※本機は単 4 形乾電池または EBP-68（ニッケル水素充電池）でご使用ください。市販の充電池をご使用になっての不具合は保証の対象外とさせていただきますのでご了承ください。

乾電池に関するご注意

●乾電池は、使い方を誤ると破裂や破損、液漏れの原因となります。次の注意事項を必ずお守りください。

1．使用した乾電池と新しい乾電池を混ぜて使用しない。
2．2 本とも同じ種類の乾電池を使用する。
3．分解、加熱しない。
4．充電しない。
5．長期間使用しないときは、乾電池を本体から取り出しておく。

市販の単 4 形充電池について

●容量・電圧及びその他の仕様が弊社の製品と合わない可能性があり、故障の原因となりますので市販の充電池は絶対に使用しないでください。

●弊社の充電器は対応する弊社製品専用です。市販の充電池は容量や構造の違いから、充電をおこなうと故障や事故の原因となる可能性がありますので、絶対に充電しないでください。

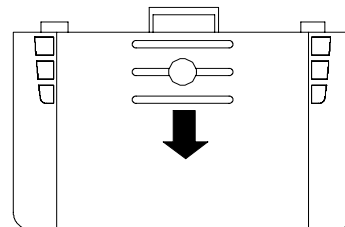
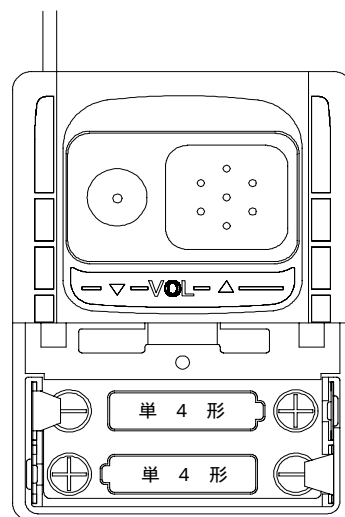
乾電池の入れ方

乾電池を次のように装着します。

①カバーを開ける

突起を利用して電池カバーを下方向にスライドさせせます。

②電池を入れる

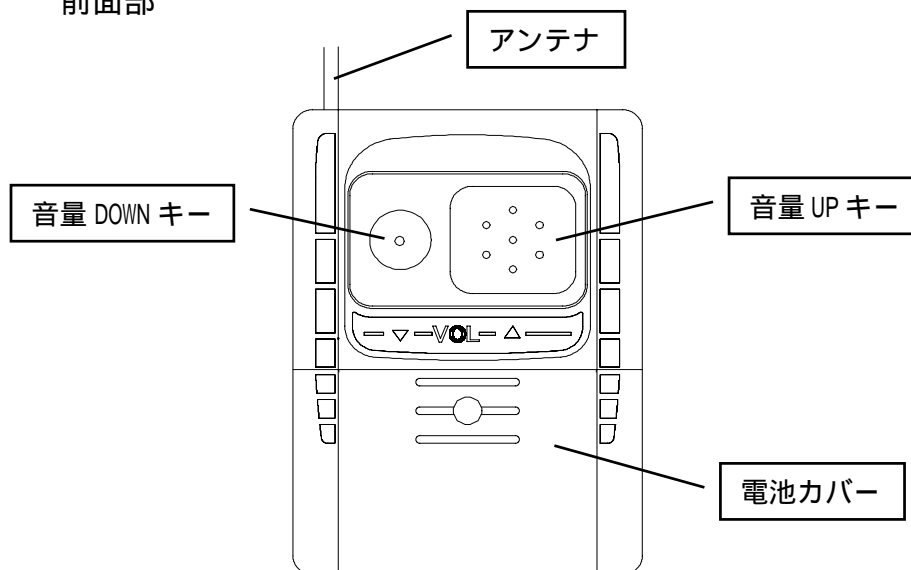
市販の単 4 形乾電池または EBP-68 を、ケース内側の「+」、「-」の表示にしたがって装着します。

注意
- +/-の向きを間違えないように注意してください。
- 電池は常に同じ種類の新しいもので使用、交換してください。
- 電池の交換は本体の電源スイッチを OFF にしてからおこなってください。

③カバーを閉める

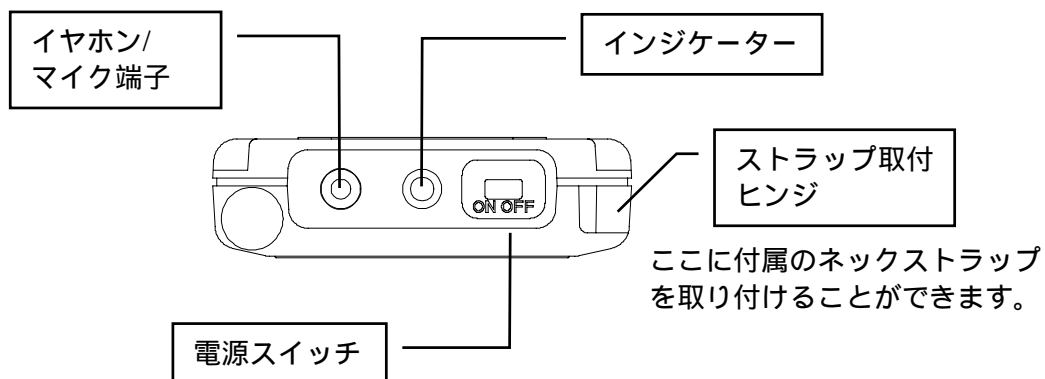
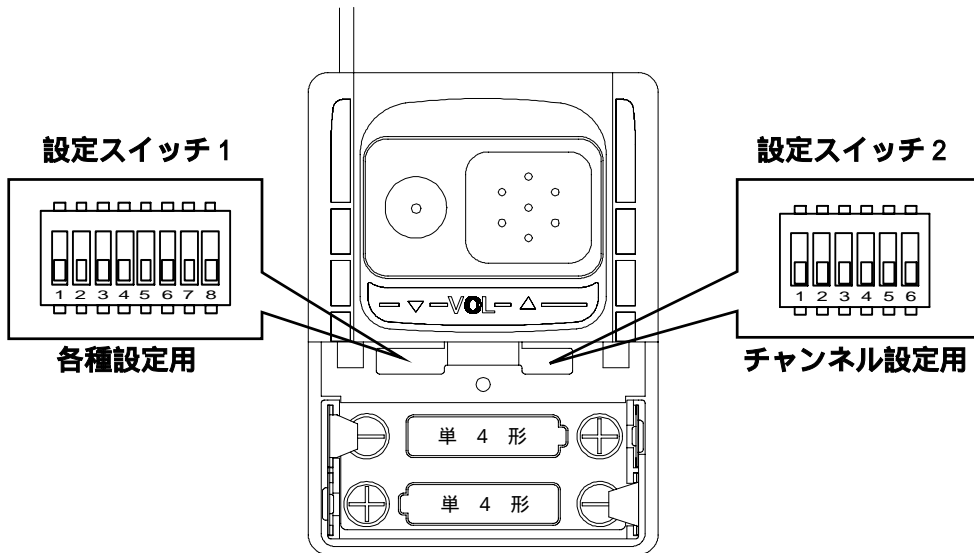
ツメを合わせ、カバーを閉めます。
きちんと閉まっていることを確認してください。

各部の名称

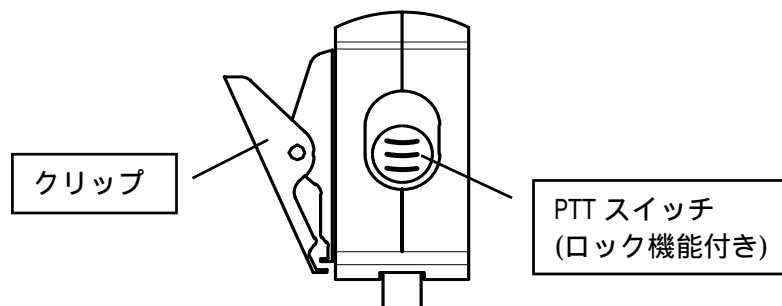
本機の各部の名称を説明します。各部のはたらきは P.15〜P.16 に詳しく説明しています。

■　前面部

注意　・アンテナを持って本機をぶら下げたり、アンテナを曲げたりすると破損するおそれがありますので取扱いにはご注意ください。

■　上面部

ここに付属のネックストラップを取り付けることができます。

■　電池カバー内部

設定スイッチ 1	
1	グループトーク機能設定
2	
3	
4	VOX 機能設定
5	中継器アクセス音設定
6	コンパンダー機能設定
7	エンドピー機能設定
8	ニッケル水素充電池(EBP-68)充電機能設定

設定スイッチ 2	
1	チャンネル設定
2	
3	
4	
5	
6	交互通話／中継通信設定

■　イヤホンマイク（マイク部）

各部のはたらき

本機の各部のはたらきを説明します。

□　音量 UP キー
　音量を上げるときに使用します。押すごとに 1 段階ずつ変化します。

□　音量 DOWN キー
　音量を下げるときに使用します。押すごとに 1 段階ずつ変化します。

メモ
・キーを押すと「ザッ」という音が聞こえますので最適な音量に調節してください。
・安全のため、キーを押し続けても音量は変化しないようになっています。適切な音量になるまでキー操作を繰り返してください。
・電源を OFF（または電池を交換）すると、音量は初期値に戻ります。

□　イヤホン/マイク端子（φ 2.5）
　付属のイヤホンマイクを接続します。

メモ
・付属のイヤホンマイクのイヤホンは左右どちらの耳でもお使いになれます。イヤホン部分を回転させて耳に合うように調整してください。

□　インジケーター（赤ランプ）
　電源を入れると点灯します。
　電池容量が減少する（電池の交換時期が近づく）と点滅します。
　P12 を参照し、電池を交換して下さい。

□　電源スイッチ
　左方向にスライドさせると電源が入ります。
（電源が入ったことを知らせる「ピポパ」音が鳴ります）

□　設定スイッチ 1（8 極）
　各種機能を設定するときに使います。（P.20～P.25）

□　設定スイッチ 2（6 極）
　チャンネルを設定するときに使います。（P.18～P.19）

□　PTT スイッチ（ロック機能付き）
押すと送信します。
PTT スイッチを押さずに上側にスライドさせると連続送信状態になります。戻すと受信待ち受け状態になります。

□　クリップ
マイクユニット背面のクリップで操作しやすい場所に装着してご使用ください。

特定小電力の通信制限について

特定小電力トランシーバーは、特定のユーザーがチャンネルを独占したり、他の通信を妨害できないようにするため、総務省の規定により通信に制限が設けられています。この仕様は特定小電力トランシーバーに共通で、設定により解除することはできません。

□　３分制限（３分以上は連続で通信できません）

送信、受信合わせて３分以内です。
１０秒前に警告音が鳴ります。
通信時間が合計３分になると自動的に送信は停止します。

注意　・３分の通信時間制限により、自動的に通信が止まった後は、約２秒たたないと次の送信はできません。

□　キャリアセンス（受信中は送信できません）

一定の強さ以上の信号を受信しているときはイヤホンマイクの［PTT］キーを押しても送信できません。
受信中に［PTT］キーを押すとアラーム音が鳴り、送信できないことをお知らせします。

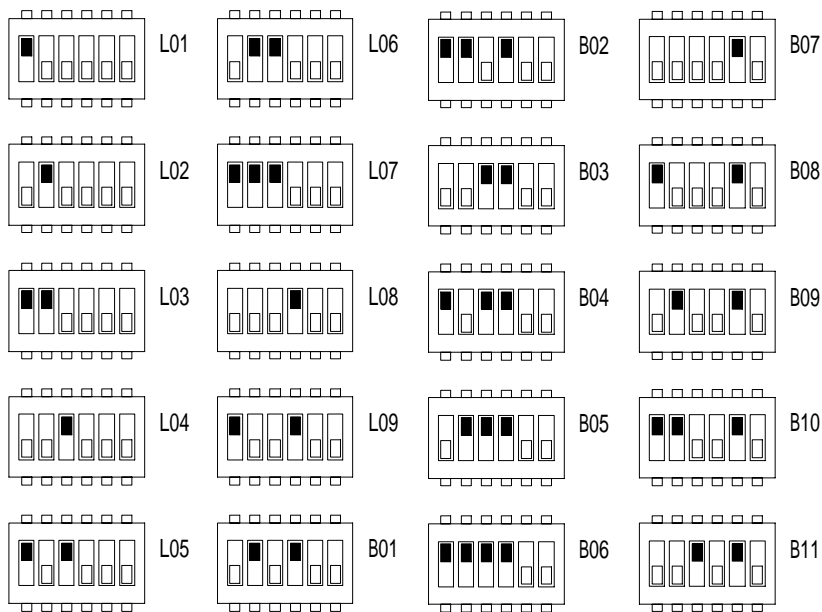
2 スイッチの設定方法

スイッチを設定する前にお読みください。

チャンネルの設定方法

チャンネルの設定方法について説明します。
本機は他の特定小電力トランシーバーとも交互通話用チャンネルで基本的な交信ができます。

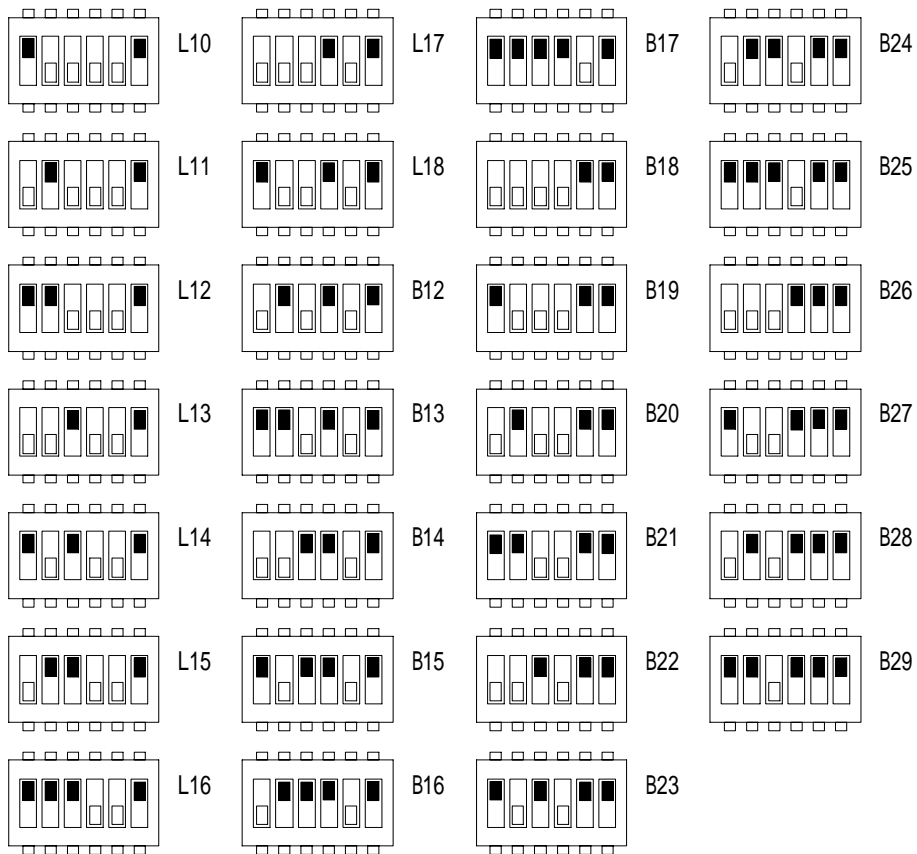
□ 交互通話用チャンネルの設定

設定スイッチ 2 の倒し方の組合せで、9ch 方式の L01ch〜L09ch と 11ch 方式の B01ch〜B11ch に合わせることができます。

メモ

- スイッチの切り替えにはペン先のような先端の丸いものをお使いください。ナイフのような鋭利なものではスイッチを破損し、故障の原因となりますのでご注意ください。
- 無効な組合せ（設定）の場合は、強制的に「L01ch」となります。
- 異なる特定小電力トランシーバーと通話する場合、その機種が特有の機能や音声調整回路を持っていると正しく動作しないことがありますが本機の故障ではありません。

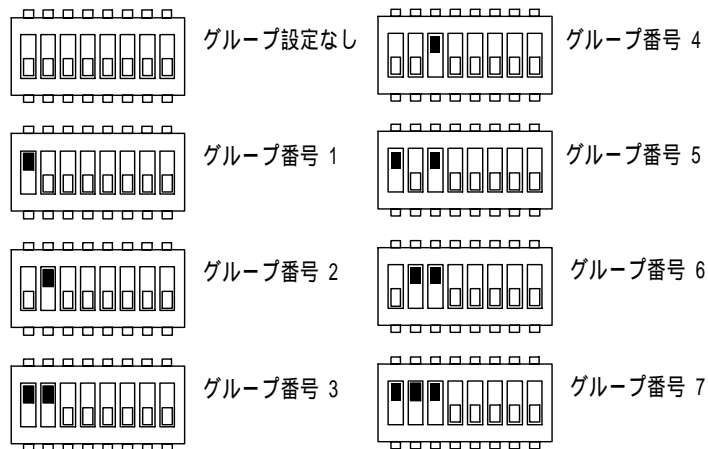
□　中継通信用チャンネル（周波数帯 A:440MHz 帯送信）の設定

直接の通信では電波が届かない場所にいる相手と、中継器を介して通信することができます。弊社製の交互通話用中継器が別途必要です。

設定スイッチ 2 の倒し方の組合せで、9ch 方式の L10ch～L18ch と 11ch 方式の B12ch～B29ch に合わせることができます。

メモ
・無効な組合せ（設定）の場合は、強制的に「L10ch」となります。
・お使いになる中継器の設定をご確認ください。
　中継器側の周波数帯は本機とは逆の「B」に設定します。

グループトーク機能の設定方法

同じグループの人とだけ通話したいときはグループトーク機能を設定します。この設定を行うと、同じグループ番号が設定された信号を受信した時だけイヤホンから音声が聞こえます。

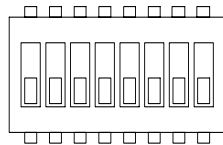
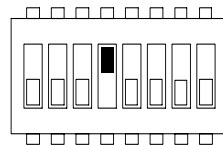
□　グループ番号（7 種類）
　　設定スイッチ 1 の 1 番～3 番ピンの倒し方の組み合わせで、
　　グループ番号 1～7 の中から任意に設定することができます。

メモ
- 他の特定小電力トランシーバーのグループトーク機能のグループ番号 1～7 と共通です。
- グループトークはトーンスケルチと呼ばれることもあります。
- グループトーク機能を設定していないトランシーバーは通話音は聞こえますが、グループトーク機能を設定しているトランシーバーと通話することができません。
- この機能は秘話機能ではありません。

VOX機能の設定方法

「PTT」キーを押さなくても、マイクに話すだけで自動で送信することができます。話をやめると自動で受信待ち受け状態になります。
ハンズフリーでの通話が可能になり、両手が使えないときに便利です。
初期状態では OFF に設定されています。

本機ではイヤホンマイクの PTT スイッチをロック(※)することにより、VOX 機能が有効となります。

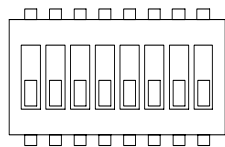
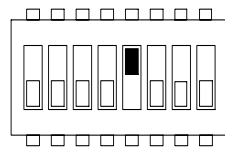
※PTT スイッチのロック方法
PTT スイッチを押し込まずに「カチッ」と音がするまで上側にスライドさせます。

□ 設定スイッチ 1 の 4 番ピンを ON（上側）にすることにより、VOX 機能を ON に設定することができます。

VOX機能OFF

VOX機能ON

注意
- VOX 機能は一部のオプションマイクでは使用できません。P.28 のオプション一覧表をご覧ください。
- VOX 感度は固定になっています。感度調整することはできません。
- 周りの環境音が大きいと音声以外で送信してしまい、この機能が使えないことがあります。
- 通話を始めても送信するまでに多少時間がかかるため、音声が途切れる場合があります。

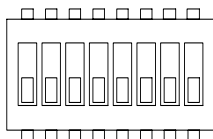
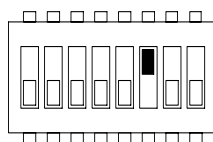
中継器アクセス音の設定方法

中継通信用チャンネル使用時、中継器にアクセスする際に鳴る「ピピッ」音を鳴らないように設定することができます。
初期状態では ON に設定されています。

□ 設定スイッチ 1 の 5 番ピンを ON（上側）にすることにより、アクセス音が鳴らないようにすることができます。

中継器アクセス音ON

中継器アクセス音OFF

コンパンダー機能の設定方法

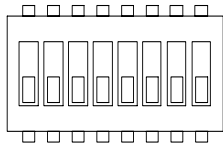
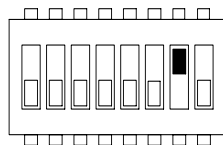
コンパンダー機能を設定すると、音声通話の明瞭度を上げる（バックノイズを大幅に軽減させる）ことができます。
初期状態では OFF に設定されています。

□ 設定スイッチ 1 の 6 番ピンを ON（上側）にすることにより、コンパンダー機能を ON に設定することができます。

コンパンダー機能ON

注意　・コンパンダー機能のないトランシーバーと通話する場合は、コンパンダー機能を OFF に設定してください。

エンドピー機能の設定方法

送信が終わったことを相手に知らせる「ピッ」音の ON/OFF を設定することができます。初期状態では ON に設定されています。

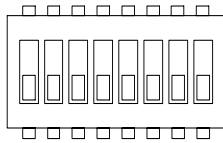
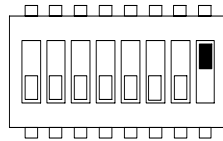
□ 設定スイッチ 1 の 7 番ピンを ON にすることにより、エンドピー機能を OFF に設定することができます。

エンドピーON

エンドピーOFF

メモ ・エンドピーを OFF に設定しても次の音は鳴ります。

● 電源が入ったことを知らせる「ピポパ」音(P.15)
● 3 分通信制限 10 秒前の「警告音」と 2 秒休止中の「アラーム音」(P.17)
● キャリアセンス中の「アラーム音」(P.17)

ニッケル水素充電池(EBP-68)充電機能の設定方法

オプションの充電器(EDC-153A)でニッケル水素充電池(EBP-68)を充電することができます。
充電時間は約 10 時間です。初期状態では OFF に設定されています。

□ 設定スイッチ 1 の 8 番ピンを ON（上側）にすることにより、充電機能を ON に設定することができます。

充電機能OFF

充電機能ON

メモ	・ニッケル水素充電池(EBP-68)を長期間使用しない場合は、常温付近で保存し、6 ヶ月に 1 回は満充電をおこなってください。

注意	・単 4 形乾電池装着時には絶対に ON にしないでください。液漏れや発熱、破裂を起こし、事故や故障の原因となります。 ・充電時は必ずトランシーバー本体の電源を OFF にしてください。 ・誤った操作により起きた不具合は、保証の対象外となりますのでご了承ください。

付　録

本機の補足事項について記載しています。

各チャンネルの送受信周波数

■　レジャーチャンネル

交互通話用チャンネル

チャンネル	送受信周波数［MHz］
L01	422.2000
L02	422.2125
L03	422.2250
L04	422.2375
L05	422.2500
L06	422.2625
L07	422.2750
L08	422.2875
L09	422.3000

中継通信用チャンネル

チャンネル	受信周波数［MHz］	送信周波数［MHz］
L10	421.8125	440.2625
L11	421.8250	440.2750
L12	421.8375	440.2875
L13	421.8500	440.3000
L14	421.8625	440.3125
L15	421.8750	440.3250
L16	421.8875	440.3375
L17	421.9000	440.3500
L18	421.9125	440.3625

■　ビジネスチャンネル

交互通話用チャンネル

チャンネル	受信周波数［MHz］
B01	422.0500
B02	422.0625
B03	422.0750
B04	422.0875
B05	422.1000
B06	422.1125
B07	422.1250
B08	422.1375
B09	422.1500
B10	422.1625
B11	422.1750

中継通信用チャンネル

チャンネル	受信周波数［MHz］	送信周波数［MHz］
B12	421.5750	440.0250
B13	421.5875	440.0375
B14	421.6000	440.0500
B15	421.6125	440.0625
B16	421.6250	440.0750
B17	421.6375	440.0875
B18	421.6500	440.1000
B19	421.6625	440.1125
B20	421.6750	440.1250
B21	421.6875	440.1375
B22	421.7000	440.1500
B23	421.7125	440.1625
B24	421.7250	440.1750
B25	421.7375	440.1875
B26	421.7500	440.2000
B27	421.7625	440.2125
B28	421.7750	440.2250
B29	421.7875	440.2375

トーン周波数一覧

■　グループ番号トーン周波数一覧

番号	周波数［Hz］
1	67.0
2	71.9
3	74.4
4	77.0
5	79.7
6	82.5
7	85.4

オプション一覧

EME-28　イヤホンマイク（耳掛けタイプ　DJ-PX2C 付属品）
EME-2　イヤホンマイク（タイピン型）
EME-24　イヤホンマイク（タイピン型カールコードイヤホン）
EMS-60(*1)　スピーカーマイク
ESC-43　キャリングケース（背面クリップ付き）
EBP-68　ニッケル水素充電池（1.2V 920mAh　単４形）×2
* EDC-153A　標準充電器セット（ツイン型）
* EDC-153R　連結スタンド（ツイン型）

＊EDC-153A に 3 台の連結スタンド(EDC-153R)を連結して、DJ-PX2C を最大 8 台まで同時に充電することができます。
（充電池 EBP-68 は、単体で充電することはできません。）

(*1) EMS-60（スピーカーマイク）は、VOX 機能が使用できません。

故障とお考えになる前に

本機が故障かな？と思ったら、まずこちらをお読みください。

症 状	原因	処置
電源が入らない。	電池の入れ方が間違っている。	電池を正しく入れ直してください。
	電池が消耗している。	新しい電池と交換してください。充電池を充電してください。
音が出ない。受信しない。	音量が低すぎる。	適切な音量に設定してください。（P.15）
	相手とチャンネルが違う。	同じチャンネルに合わせてください。（P.18〜P.19）
	相手と距離が離れすぎている。	場所を移動してから交信してください。
	グループ番号が違う。	グループ番号を合わせてください。（P.20）
送信できない。	信号を受信している。	信号がなくなってから送信するか、チャンネルを変更してください。
	通信制限時間を超過している。	イヤホンマイクの［PTT］キーを離し、2 秒たってから送信してください。（P.17）
VOX 機能が動作しない。	PTT スイッチをロックしていない。	PTT スイッチをロックしてください。（P.21）
充電しない。(オプション充電器使用時)	充電端子が汚れている。	本体背面の充電端子、充電器側の充電端子の汚れを乾いた布で拭き取ってください。

電池が消耗していると、まれに誤動作することがあります。
新しい電池に交換、または充電池を充電してください。

■ 製造中止製品に対する保守年限に関して

製造中止製品に関しては、下記の一定期間、補修用部品を常備しています。
不測の事態により在庫がなくなる場合もあり、修理ができないこともありますのでご了承ください。
※補修用部品の保有期間は、製造中止後 5 年です。

定　格

受信周波数	レジャーチャンネル	422.2000～422.3000MHz（送受信） 421.8125～421.9125MHz（受信） 440.2625～440.3625MHz（送信） （12.5KHz ｽﾃｯﾌﾟ）
	ビジネスチャンネル	422.0500～422.1750MHz（送受信） 421.5750～421.7875MHz（受信） 440.0250～440.2375MHz（送信） （12.5KHz ｽﾃｯﾌﾟ）
電波型式	F3E(FM)	
送信出力	10mW	
受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン	
受信感度	-14dBμ以下（12dB SINAD）	
中間周波数	1st IF 21.7MHz / 2nd IF 450KHz	
音声出力	50mW 以上（8Ω負荷時）	
通信方式	単信方式、半複信方式	
定格電圧	DC2.4V～DC3.0V	
消費電流	送信時 約 60mA 受信定格出力時 約 60mA 受信待ち受け時（平均）約 15mA	
動作温度範囲	-10℃～+50℃	
寸法	54(W)×75(H)×15(D)mm （突起物除く）	
	アンテナ長さ　60mm	
重量	約 98g（乾電池・イヤホンマイク含む）	

※仕様・定格は予告なく変更する場合があります。

●本書の説明用イラストは、実物とは異なることがあります。

●本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。
乱丁、落丁はお取り替えいたします。